



## E コマンド

この章では、E で始まる Cisco Nexus Virtual Services Appliance コマンドについて説明します。

### echo

引数を端末画面にエコー バックするには、**echo** コマンドを使用します。

```
echo [backslash-interpret] [text]
```

#### 構文の説明

<b>backslash-interpret</b>	(任意) バックスラッシュ文字 (\) のあとの任意の文字がフォーマット オプションとして解釈されます。
<i>text</i>	(任意) 表示するテキスト文字列を指定します。このテキスト文字列は 200 文字以下の長さの英数字で、大文字と小文字を区別し、スペースを含むことができます。テキスト文字列には、CLI 変数への参照も含めることができます。

#### デフォルト

ブランク行が表示されます。

#### コマンド モード

任意のコマンド モード

#### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

#### コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

#### 使用上のガイドライン

**echo** コマンドをコマンド スクリプトで使用すると、スクリプトの実行中に情報を表示できます。

表 1 に、**-e** または **backslash-interpret** キーワードを指定したときにテキストに挿入できるフォーマット キーワードの一覧を示します。

表 1 echo コマンドのフォーマット オプション

フォーマット オプション	説明
<code>\b</code>	バック スペース
<code>\c</code>	テキスト スtringの最後にある改行文字が削除されます。
<code>\f</code>	フォーム フィールド文字が挿入されます。
<code>\n</code>	改行文字が挿入されます。
<code>\r</code>	テキスト行の最初に戻ります。
<code>\t</code>	水平タブ文字が挿入されます。
<code>\v</code>	垂直タブ文字が挿入されます。
<code>\\</code>	バックslash文字が表示されます。
<code>\nnn</code>	対応する ASCII 8 進文字が表示されます。

## 例

次に、コマンド プロンプトで空白行を表示する例を示します。

```
n1010# echo
```

次に、コマンド プロンプトで 1 行のテキストを表示する例を示します。

```
n1010# echo Script run at $(TIMESTAMP).
Script run at 2008-08-12-23.29.24.
```

次に、テキスト スtringでフォーマット オプションを使用する例を示します。

```
n1010# echo backslash-interpret This is line #1. \nThis is line #2.
This is line #1.
This is line #2.
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>run-script</code>	コマンドスクリプトを実行します。

# enable

仮想サービスのコンフィギュレーションを開始してイネーブルにするには、**enable** コマンドを使用します。コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**enable** [primary | secondary] [properties value]

**no enable** [primary | secondary] [properties value | force]

## 構文の説明

<b>primary</b>	(任意) 仮想サービスをプライマリ ロールに指定します。
<b>secondary</b>	(任意) 仮想サービスをセカンダリ ロールに指定します。
<b>properties</b>	(任意) この仮想サービスでイネーブルにできるプロパティを指定します。
<b>value</b>	イネーブルにする仮想サービスのプロパティを指定します。Cisco Nexus 1010 では次の情報が求められます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ドメイン ID この ID は、Cisco Nexus 1010 で使用したものと異なるドメイン ID する必要があります。</li> <li>管理 IP アドレス</li> <li>管理サブネット マスクの長さ</li> <li>デフォルト ゲートウェイの IPv4 アドレス</li> <li>スイッチ名</li> <li>管理者パスワード</li> </ul>
<b>force</b>	(任意) 仮想サービスの削除を強制します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

仮想サービス ブレード コンフィギュレーション (config-vsbs-config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、セカンダリ仮想サービスを開始する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# virtual-service-blade VSM-1
n1010(config-vs-b-config)# enable secondary properties
Enter domain id[1-4095]: 1054
Enter Management IP address: 10.78.108.40
  Enter Management subnet mask length 28
  IPv4 address of the default gateway: 10.78.108.117
  Enter Switchname: VSM-1
  Enter the password for 'admin': XyXy123
n1010(config-vs-b-config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>description</b>	仮想サービスに説明を追加します。
<b>interface vlan</b>	インターフェイスと VLAN ID をこの仮想サービスに割り当てます。
<b>show virtual-service-blade</b>	仮想サービス ブレードに関する情報を表示します。
<b>show virtual-service-blade name</b>	仮想サービスに関する情報を表示します。
<b>show virtual-service-blade-type summary</b>	すべての仮想サービスの設定の要約をタイプ名ごとに表示します。
<b>virtual-service-blade</b>	指定した仮想サービスを作成して、そのサービスのコンフィギュレーション モードに切り替えます。
<b>virtual-service-blade-type</b>	この仮想サービスに追加するソフトウェア イメージ ファイルのタイプと名前を指定します。

# end

コンフィギュレーション モードを終了して特権 EXEC モードに戻るには、**end** コマンドを使用します。

**end**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**end** コマンドと **exit** コマンドは、**exit** コマンドでは前のコンフィギュレーション モードに戻る点で異なります。**end** コマンドでは常に、コンフィギュレーション モードを完全に終了して、特権 EXEC モードに戻ります。

## 例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードのセッションを終了して、特権 EXEC モードに戻る例を示します。

```
n1010(config)# end
n1010#
```

次に、インターフェイス コンフィギュレーション モードのセッションを終了して、特権 EXEC モードに戻る例を示します。

```
n1010(config-if)# end
n1010#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>exit</b>	現在のコマンド モードを終了し、前のコマンド モードに戻ります。

# exec-timeout

アクティブでない状態のままの Telnet または SSH セッションを自動的にシャットダウンするまでの時間を分単位で設定するには、**exec-timeout** コマンドを使用します。exec timeout の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**exec-timeout** *time*

**no exec-timeout** [*time*]

## 構文の説明

<i>time</i>	タイムアウト時間を分単位で指定します。有効な範囲は 0 ～ 525600 です。 この指定時間より長い間アクティブでなかったセッションは、自動的に終了されま す。
-------------	---

## デフォルト

タイムアウトは設定されていません。

## コマンドモード

コンソール コンフィギュレーション (config-console)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

*time* を 0 に設定すると、exec timeout はディセーブルになります。

## 例

次に、コンソール ポートの非アクティブ セッションのタイムアウトを設定する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# line console
n1010(config-com1)# exec-timeout 20
```

次に、仮想端末の非アクティブ セッションのタイムアウトを設定する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# line vty
n1010(config-line)# exec-timeout 20
```

次に、コンソール ポートの exec timeout を削除する例を示します。

```
n1010(config)# configure terminal
DocTeamVSM(config)# line console
n1010(config-console)# no exec-timeout
n1010(config-console)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show terminal</b>	タイムアウト値などの端末の設定を表示します。
<b>show users</b>	現在アクティブなユーザセッションを表示します。

# exit

コンフィギュレーション モードまたは CLI を終了するには、**exit** コマンドを使用します。

**exit**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードを終了する例を示します。CLI は EXEC モードに戻ります。

```
n1010(config)# exit
n1010#
```

次に、インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了する例を示します。CLI はグローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。

```
n1010(config-if)# exit
n1010(config)#
```

次に、CLI を終了する例を示します。

```
n1010# exit
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
end	EXEC コマンド モードに戻ります。



# export

リモートストレージにコピー可能なバックアップ Virtual Service Blade (VSB) コンフィギュレーションファイルを作成するには、**export** コマンドを使用します。

**export** [**primary** | **secondary**]

## 構文の説明

<b>primary</b>	(任意) プライマリ ロールを割り当てられた Cisco Nexus 1010。
<b>secondary</b>	(任意) セカンダリ ロールを割り当てられた Cisco Nexus 1010。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

仮想サービス ブレード コンフィギュレーション (config-vsب-config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SP1(3)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

Cisco Nexus 1010 の冗長ペアからエクスポートする場合、プライマリまたはセカンダリのどちらからエクスポートするのかを指定する必要があります。

**bootflash: export-import** ディレクトリは空である必要があります。このディレクトリにファイルがある場合は、この手順を開始する前に削除する必要があります。

エクスポートする前に **VSB** をシャット ダウンする必要があります。

## 例

次に、リモートストレージにコピー可能な **VSB** の圧縮 **tar** イメージを含むファイルを Cisco Nexus 1010 で作成する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config) virtual-service-blade name
n1010-1(config-vsب-config)# export secondary
Note: export started..
Note: please be patient..
Note: please be patient..
Note: please be patient..
Note: export completed...n1010-1 (config-vsب-config) #
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>import</b>	Cisco Nexus 1010 に VSB コンフィギュレーション ファイルをインポートします。
<b>show network</b>	ネットワークに関する情報を表示します。

コマンド	説明
<b>show virtual-service-blade</b>	仮想サービスに関する情報を表示します。
<b>show virtual-service-blade- type summary</b>	すべての仮想サービスの設定 (Virtual Supervisor Module (VSM) または Network Analysis and Monitoring (NAM)) の要約をタイプごとに表示します。